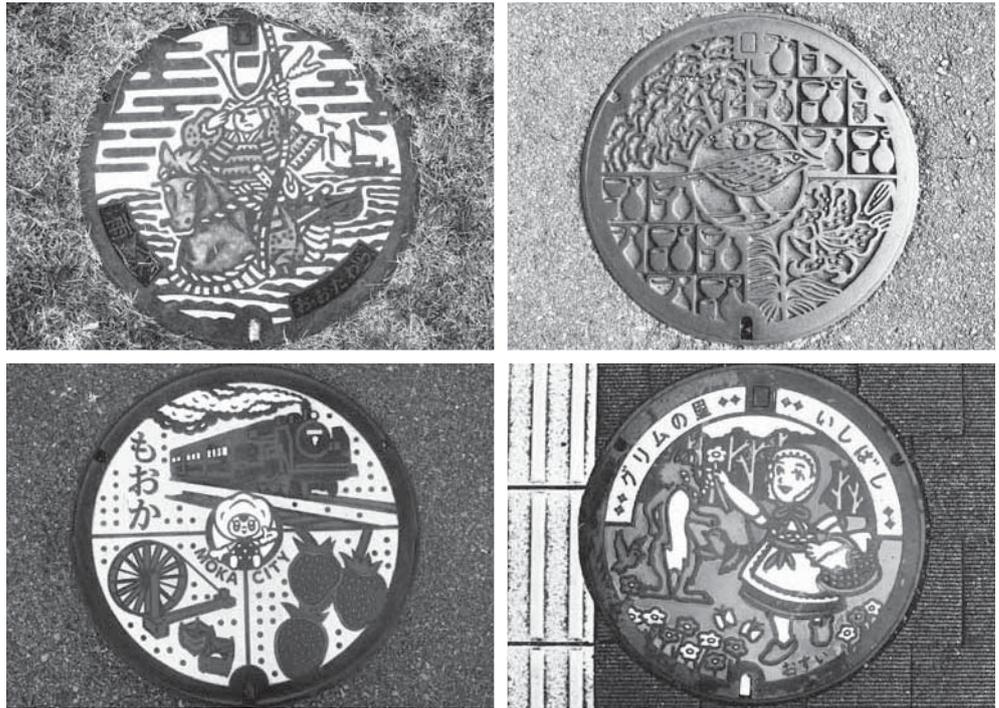


2018
Apr.
Vol. 43

一般社団法人栃木県診療放射線技師会
情報誌

あすたーと

マンホールの蓋



■日本全国には各地域独特の意匠を取り入れたマンホールの蓋がありますが、栃木県内でもさまざまなご当地デザインをみることができます。皆さんも身近な美術品を堪能してみたいはいかがでしょうか。なお、本来、マンホール蓋表面の紋様は滑り防止の役目があるようで、平面部分の多いデザインでは滑りやすくなっているものもあるそうです。自転車やバイクでの走行の際は、十分お気をつけください。

CONTENTS

| | | |
|---------------|---------------------------|----|
| ■ 巻頭言 | 「コミュニケーション」について考える | 2 |
| ■ 会告 | 第94回 定時社員総会開催について | 3 |
| ■ 会告 | 平成30年度 第1回卒後教育講座開催について | 4 |
| ■ 会告 | 第8回 業務拡大に伴う統一講習会開催について | 5 |
| ■ 会告 | 平成30年度 フレッシュアップセミナー開催について | 7 |
| ■ 報告 | 平成29年度 第3回 卒後教育講座開催報告 | 8 |
| ■ 報告 | 平成29年度 第4回 卒後教育講座開催報告 | 9 |
| ■ 報告 | 第13回 学術研究発表会開催報告 | 10 |
| ■ 報告 | 平成29年度 第2回 第1地区卒後教育講座開催報告 | 15 |
| ■ 報告 | 平成29年度 第2回 第2地区卒後教育講座開催報告 | 16 |
| ■ 報告 | 平成29年度 第2回 第3地区卒後教育講座開催報告 | 17 |
| ■ 報告 | 平成29年度 第2回 第4地区卒後教育講座開催報告 | 18 |
| ■ 報告 | 平成29年度 第2回 第5地区卒後教育講座開催報告 | 19 |
| ■ 研究会報告 | 平成29年度 第1回消化管撮影研究会開催報告 | 20 |
| ■ 会員報告 | 災害支援診療放射線技師研修会に参加して | 21 |
| ■ 会員報告 | 欧州放射線学会議 (ECR) 2018 に参加して | 22 |
| ■ 事務局報告 | | 23 |
| ■ INFORMATION | | 24 |

「コミュニケーション」について考える



一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
会長 小黒 清

最近、職場で「コミュニケーション能力がたりない」「周りとうまくコミュニケーションがとれていない」などとよく耳にします。コミュニケーションは、私たちが周りの人と関わっていく中でもっとも大切なものであるとわかっているつもりですが、「コミュニケーションとは何だろう?」と改めて考えてみると、その意味の範囲は広く、「よくわからない」というのが一般的かもしれません。そこで今回「コミュニケーションって何?」「どうすればコミュニケーション能力が鍛えられるのか?」などについて考えてみました。

「コミュニケーション」を広辞苑で引くと、「社会生活を営む人間の間に行われる知覚・感情・思考の伝達であり、言語・文字、その他の視覚・聴覚に訴える各種のものを媒介とする」とあります。これらことから、コミュニケーションとは、対話や会話に加えて、「知覚・感情・思考の伝達」つまり「自分の思い」を伝えることであり、それを言語と言葉以外の文字や視覚・聴覚をも媒介にして訴えるものであると理解できます。人と人が双方向で考えを伝え、理解をしあうことであり、人と人とのコミュニケーションとは、突き詰めると「人を理解すること」「人に(自分を)理解してもらうこと」です。そうすると、その能力＝コミュニケーション能力とは、人を理解し、人に自分を理解してもらう能力のことだと言えます。あなたが言いたいこと、あなたの考え方、あなたがどんな人物かを誰かにわかってもらうために、そして周囲の人が何を言いたいのか、どんな考えを持っているのか、どのような人物かを理解するためにコミュニケーションがあります。具体的には、「伝える(話す)能力」「受け取る(聴く)能力」であり、情報を「伝える側」と「受け取る側」の2者に分かれ、そのどちらかまたは両方に目的があって行われます。

ことわざにも「話し上手は聴き(聞き)上手」というものがあります。これは相手の話をしっかり聞け

る人は、相手とうまく会話ができる話し上手だという意味です。話を聴くことで相手が心を開いて話をしてくれたり、相手の話からポイントを拾ってどんどん会話を広げていくことができたりします。カウンセリングやコーチング、心理学の世界では話を聴くことを「傾聴」と言います。相手に本音を話してもらうために、聴くことはコミュニケーションにおいてとても重要だとされています。ですから、傾聴することは人と関わる基本姿勢でもあります。傾聴のポイントは3つです。①相手の話を最後まで聴くこと(途中で遮らない)②相手の話を否定しない。仮に考えが違って、違いを受け入れること③うなずき、相槌で「あなたの話を聴いています。わかっています。」と示すこと。どれも、相手に関心を持っていれば、思った以上に簡単なことです。

また、わかりやすく人に伝えるためには、「伝えたいことは何か」「この話を聞いてどうなってほしいのか」・・・つまり結論や目的を明確にします。話がわかりづらくなってしまふ人にありがちなのが、話のポイントや、コミュニケーションの目的があいまいになってしまうことです。思いつきで話すのではなく、きちんと話す内容を整理して、相手にとってわかりやすく話すことが大切です。

我々診療放射線技師の職場には先輩、後輩、上司、他職種(医師、看護師等)など幅広い人がいます。職場ではこれらの人たちとどのような関係性を築くかが非常に大切になります。そして、そこには「コミュニケーション」が大きく関係してきます。職場でインシデントを起こさないためにも、周りとのコミュニケーションが非常に重要になってくると思います。

平成30年4月
栃木県診療放射線技師会
ホームページを
リニューアルしました。



<http://tartnet.com/>

第94回 定時社員総会開催について

平成30年度一般社団法人栃木県診療放射線技師会第94回定時社員総会を定款第14条に基づき、下記のとおり開催いたします。

記

- 日 時：**平成30年 5月26日(土) 16時30分開会（16時20分受付）
- 会 場：**獨協医科大学病院 教育医療棟7階 シミュレーション講義室Ⅱ
（栃木県下都賀郡壬生町北小林880 電話：0282-86-1111(代)）
（アクセス：<http://www.dokkyomed.ac.jp/access.html>）
- 次 第：**1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 表 彰（20年・35年勤続功労表彰）
4. 総会運営委員会報告
5. 議長選出
6. 書記及び議事録署名人選出
7. 議 事
 第1号議案 平成29年度事業報告
 第2号議案 平成29年度会計決算報告
 第3号議案 平成29年度監査報告
 第4号議案 会費に関する規則の改定について
 第5号議案 平成30年度事業計画・収支予算書（報告事項）
 第6号議案 その他
8. 閉会

以 上

*総会に出席の際は、別送の総会資料をお持ちください。

*定款第18条により、総会の成立には会員の過半数の出席が必要となります。

*欠席される方は、書面表決または委任状の提出をお願いいたします。

平成30年度 第1回卒後教育講座開催について

平成30年度第1回卒後教育講座を開催いたします。万障お繰り合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。

日 時：平成30年5月26日(土) 15時00分開会（14時30分受付）

会 場：獨協医科大学病院 教育医療棟7階 シミュレーション講義室Ⅱ

（栃木県下都賀郡壬生町北小林880 電話：0282-86-1111(代)）

（アクセス：<http://www.dokkyomed.ac.jp/access.html>）

講座内容

講 演：画像診断学の基礎（呼吸器）

講 師：国際医療福祉大学

保健医療学部 放射線・情報科学科

教授 樋口 清孝 先生

講 演：医療被ばく低減施設取得へ向けて

講 師：獨協医科大学病院 放射線部

診療放射線技師 福住 徹 先生

参加費：会員及び今年度に技師免許を取得した方 無料
非会員 3,000円

*日診放技の学術研修カウントが付与されますので、会員カードを持参ください。

*お車でお越しの方は、外来駐車場に駐車してください。駐車料金が無料となる手続きをしますので、駐車券を忘れずにご持参ください。

第8回業務拡大に伴う 統一講習会開催について(栃木県開催)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、平成26年6月18日に診療放射線技師法の一部改正が行われ、平成27年4月1日に施行となりました。この改正により診療放射線技師の業務範囲が拡大され、CTやMRI検査等での自動注入器による造影剤の注入、造影剤注入後の抜針・止血、下部消化管検査の実施（肛門にカテーテルを挿入する行為を含む）、画像誘導放射線治療時の腸内ガスの吸引のためのカテーテル挿入の実施が可能となりました。これら新たな業務の研修に関する留意事項として、診療放射線技師の養成課程において新たな業務に係る教育を受けていない診療放射線技師については、医療安全確保の観点から、新たな業務を行うのに先立ち、公益社団法人日本診療放射線技師会が実施する研修を受け、達成目標に到達する必要があることが明記されております。

つきましては、昨年度に引き続き下記のとおり「業務拡大に伴う統一講習会」を開催いたしますので、未受講の会員の方は受講くださいますようお願い申し上げます。

謹白

記

開催日：平成30年7月15日(日)、16日(月)の2日間

会場：獨協医科大学病院 教育医療棟6階 シミュレーション講義室 I
(栃木県下都賀郡壬生町北小林880)

定員：60名

受講料：15,000円（会員）

60,000円（非会員）

但し、静脈注射（針刺しを除く）に関する講習会と注腸X線検査臨床研修統一講習会修了者は受講料が異なりますのでJARTホームページで確認してください。

申込方法：JART情報システムの利用登録から申し込みください。

申込期間：平成30年5月予定

注意事項：BLS実習に適した動きやすい服装、靴で参加ください。

獨協医科大学の学生食堂は営業しておりませんので、各自で昼食のご用意をお願いいたします。

業務拡大に伴う統一講習会 プログラム（北関東地域：栃木）

一般社団法人 栃木県診療放射線技師会 実施

会 場：獨協医科大学病院 教育医療棟 6階 シミュレーション講義室 I
（栃木県下都賀郡壬生町北小林 880）

■平成30年7月15日（日）

| 時限 | 時 間 | | 内 容 | |
|----|-------------|----|-----------|------------|
| | 8:50～ 9:00 | 10 | オリエンテーション | ——— |
| 1 | 9:00～ 9:50 | 50 | 法改正 | 講義（DVD 聴講） |
| 2 | 9:50～10:40 | 50 | IGRT1 | 講義（DVD 聴講） |
| 3 | 10:50～11:40 | 50 | IGRT2 | 講義（DVD 聴講） |
| 4 | 11:40～12:30 | 50 | IGRT3 | 講義（DVD 聴講） |
| | 12:30～13:20 | 50 | 昼休憩 | ——— |
| 5 | 13:20～14:10 | 50 | 下部消化管 1 | 講義（DVD 聴講） |
| 6 | 14:10～15:00 | 50 | 下部消化管 2 | 講義（DVD 聴講） |
| 7 | 15:10～16:00 | 50 | 下部消化管 3 | 講義（DVD 聴講） |
| 8 | 16:00～16:50 | 50 | 下部消化管 4 | 講義（DVD 聴講） |

■平成30年7月16日（月）

| | | | | |
|----|-------------|----|-----------|------------|
| | 8:55～ 9:00 | 5 | オリエンテーション | ——— |
| 9 | 9:00～ 9:50 | 50 | 静脈注射関係 | 講義（DVD 聴講） |
| 10 | 9:50～10:40 | 50 | 静脈注射関係 | 講義（DVD 聴講） |
| 11 | 10:50～11:40 | 50 | 静脈注射関係 | 講義（DVD 聴講） |
| | 11:40～12:30 | 50 | 昼休み | ——— |
| 12 | 12:30～13:50 | 80 | 静脈注射関係実習 | 実習 |
| 13 | 14:00～14:50 | 50 | 下部実習 | 実習 |
| 14 | 14:50～15:40 | 50 | IGRT 実習 | 実習 |
| 15 | 15:50～16:50 | 60 | BLS | 実習 |
| 16 | 17:00～17:50 | 50 | 確認試験 | 試験 |
| | 17:50～18:00 | 10 | 修了式 | |

平成30年度 フレッシューズセミナー開催について ～皆様の職場の新人にご紹介ください～

診療放射線技師としての一步を踏み出すみなさまを応援する充実したプログラムとなっております。
診療の現場や職場におけるコミュニケーションづくりなど、技師として知っておきたい基礎知識の習得に役立ちます。

この機会に是非ご参加いただきますよう、お勧めください。

記

日 時：平成30年5月27日(日) 9：00～16：00

開催場所：獨協医科大学病院 教育医療棟7階 シミュレーション講義室Ⅱ

対 象：新卒者もしくは卒後2年目までの新人技師（非会員の方も歓迎）

内 容：エチケットマナー・医療安全・感染対策・気管支解剖など、
現場ですぐに役立つ知識

参加費：無料 *参加者には昼食がつきます

アクセス：【電車を利用する場合】東武宇都宮線「おもちゃのまち駅」下車

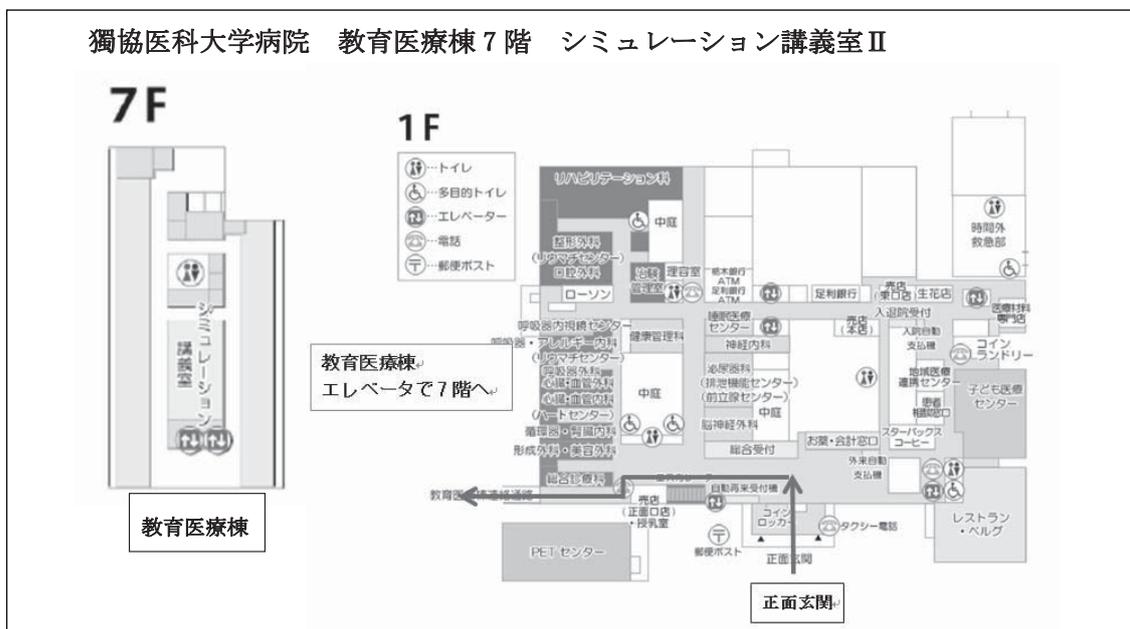
西口よりバス3分 徒歩10分

もしくは、JR宇都宮線「石橋駅」からタクシーにて15分

【高速道路を利用する場合】東北自動車道から栃木都賀JCT経由

北関東自動車道「壬生IC」から直進3分

*お車でお越しの方は、病院の外来駐車場をご利用ください。
無料手続きをしますので、必ず駐車券を持参してください。



報告

開催報告

平成29年度 第3回卒後教育講座開催報告

■期日：平成30年2月10日(土) ■会場：獨協医科大学病院教育医療棟6階 シミュレーション講義室Ⅰ
■参加人数：59名（会員：59名 非会員：0名）

講演

「平成30年度診療報酬改定について」

[講師] ブラッコ・エーザイ株式会社 内川 慶先生



ブラッコ・エーザイ株式会社
内川 慶先生

ヴィルヘルム・コンラート・レントゲン博士の没後95年にあたる平成30年2月10日、獨協医科大学病院教育医療棟6階シミュレーション講義室Ⅰにて第3回卒後教育講座が行われました。

今回の内容は、平成30年度診療報酬改定について、ブラッコ・エーザイ株式会社の内川慶先生にお越しいただき、診療報酬の改定案の答申からわずか3日後というお忙しい中ご講義いただきました。

平成28年度診療報酬から今回の改定では変わると思われる内容を表で解りやすく解説頂きました。

特に我々に関係する画像診断関連の診療報酬は、複雑で、なかなか理解が難しいため、参加者からの質問もとても多く、関心の高さが伺える内容でした。私自身もとても勉強になりました。



学術部 大橋 俊之

平成29年度 第4回卒後教育講座開催報告

■日時：平成30年3月11日(日) 13:00 ■会場：獨協医科大学 関湊記念ホール
■参加人数：124名（会員112名、非会員3名、学生9名）

講演

「画像診断学の基礎（消化器）」

【講師】 国際医療福祉大学 保健医療学部 放射線・情報科学科 准教授 樋口 清孝先生



国際医療福祉大学
樋口 清孝先生

毎回わかりやすいと評判の樋口先生の講演も、今回で第3回となりました。

これらの講演が行われるようになったのは、小黒会長からの挨拶にありましたが、平成22年厚生労働省医政局長から

「医療スタッフの協同・連携によるチーム医療の推進について」の通知が発せられ、診療放射線技師を積極的に活用する業務として、画像診断における読影の補助を行うこと、放射線検査等に関する説明・相談を行うことが明記されたことに起因します。

これらの講演は、国際医療福祉大学で実際に学生へ授業を行っている内容であり、画像所見だけに限らず病態・病理を合わせ、より深く、より理解しやすく説明していただき、我々診療放射線技師が画像について知識を深めるのにとっても有効であると感じます。

第1回：脳・神経、頭頸部、第2回：心血管に続き、本日は消化器で、

1. 脂肪肝

まだら脂肪肝

非アルコール性脂肪性肝硬変

2. 肝硬変

Budd-chiari

ウイルス性肝炎

3. 胃・食道静脈瘤

門脈圧亢進症

4. 肝細胞癌

の4つについてお話をいただきました。

講演の内容について脂肪肝を例に挙げます。脂肪肝とは、肝細胞内に中性脂肪が沈着する病気です。画像所見は、CTは低濃度（黒く見える）、エコーは高輝度（白く見える）と見え方が逆になります。病気の原因は、脂肪合成亢進、分解障害、虚血とあり、分解障害の場合は肝不全を起こす危険性があるそうです。また、血中酵素のAST/ALTは、0.87未満は慢性肝炎や過栄養性脂肪肝、0.87以上は肝硬変、肝癌、アルコール性脂肪肝と鑑別診断されるそうです。

講演の最後に、樋口先生より、「どのように成り立っているのか？考えてもらえれば」という言葉で締めくくられました。

樋口先生、今回もわかりやすい講演をありがとうございました。また次回を楽しみにしています。

学術部 木村友昭

第13回学術研究発表会 開催報告

- 開催期日：平成30年3月11日(日) ■会場：獨協医科大学 創立30周年記念館 関湊記念ホール
- 参加人数：124名（内訳 会員：112名、非会員：3名、学生：9名）
- 演題登録数：18演題（内訳 会員発表：15演題、学生発表：3演題）
- 協賛：広告協賛：15社、企業出展：9社、ランチョンセミナー：2社



開会の挨拶をする小黒会長

若い診療放射線技師の発表経験の場として、学生・大学院生の学習成果の発表の場として、本研究発表会が位置づけられていますが、診断・核医学・教育・管理と多岐にわたる分野において、会員発表15演題、学生発表3演題の計18演題が登録され、参加人数が124名と多数の会員及び学生の参加をいただきました。また、本年度日本診療放射線技師学術大会（函館）及び関東甲信越診療放射線技師学術大会（長野）の発表実績も報告され、充実したプログラムとなりました。

ランチョンセミナーでは、株式会社日立製作所ヘルスケアビジネスユニットの吉川修先生から「低被ばく！なのに高画質。」-X線TV 新画像処理 NSI+の現実-と題して、一般撮影や透視領域における線量を抑えても高画質を維持できる最新技術を学ぶことができました。

会場入口では、協賛9社による展示ブースが設けられ、メーカーによる新製品の紹介、それぞれの施設に納品された製品のフォローアップが展開されました。

学術奨励賞には、国際医療福祉大学山口菜々江さんの「新生児Aiにおける高線量CT撮影が及ぼす画質への影響」及び獨協医科大学病院須藤隼佑会員の「Quiescent Interval Single Shot (QISS) 法を用いた非造影下肢MRA撮像の検討」の2演題が表彰され、更なる研究が期待されます。

学生も含め若い会員の演題発表が目立ちました。また、セッションを進行する座長を初めて経験する方もいらっしゃいましたが、それらの皆様は、先輩方からのアドバイスを受けて壇上に上がっていました。若手のエネルギーとベテランの経験がうまく融合した大変活気のある研究発表会となりました。

それぞれの施設がお互い切磋琢磨して研究を進め、県全体の学術レベルのベースアップにつながることを、また、会員の皆様が本研究発表会での発表経験を糧にして全国に羽ばたくことを期待して開催報告とします。

学術部 佐藤 宏

報告

開催報告

ランチオンセミナー



株式会社日立製作所
吉川 修 先生



研究発表 I



座長の園部富美恵 会員

研究発表 I の発表者



研究発表Ⅱ



座長の関昌哉 会員



研究発表Ⅱの発表者



研究発表Ⅲ



座長の高橋良 会員



研究発表Ⅲの発表者



研究発表Ⅳ



座長の国府田哲弘 会員

研究発表Ⅳの発表者



第33回 日本診療放射線技師学会（函館） 平成29年度関東甲信越診療放射線技師学会 発表報告



学術奨励賞 受賞者



獨協医科大学病院 須藤隼佑 会員

国際医療福祉大学(学生) 山口菜々江 さん

お詫び

当日のランチョンセミナーで予定しておりました『検査にかかわるすべての人のために…SenographePristina』の講演が急遽中止となりましたこと、お詫び申し上げます。

平成 30 年 4 月 5 日

一般社団法人栃木県診療放射線技師会
会長 小黒 清 殿

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社
Women's Health 営業推進部
山下 清美

栃木県診療放射線技師学術大会、講演に関するお詫び

拝啓 時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、この度は、ランチョンセミナーにおける講演に関しまして、体調不良により当日のキャンセルとなってしまい、誠に申し訳ございませんでした。

関係者の皆様には、直前になってからの欠席でご迷惑をおかけしてしまいましたこと、ただただお詫びを申し上げるばかりです。

今後このような事が二度とない様、注意をはらう所存でございます。

どうか今後とも、変わらぬご指導を賜りますよう切にお願い申し上げます。

この度は、誠に申し訳ございませんでした。

敬具

平成29年度 第2回 第1地区卒後教育講座 開催報告



株式会社千代田テクノロ
古谷 一隆先生



国際医療福祉大学
井出 貴子先生

平成30年2月16日(金)に平成29年度第2回第1地区卒後教育講座を国際医療福祉大学のM-101教室にて開催しました。今回の内容は、株式会社千代田テクノロの古谷一隆先生による「個人モニタリング及びガラスバッジについて」と国際医療福祉大学キャリア支援センターの井出貴子先生による「患者接遇とマナーについて」の2つの講演を行いました。

「個人モニタリング及びガラスバッジについて」では、ガラスバッジの構造から測定までを詳細に解説していただき、個人被ばくについて改めて確認することができました。「患者接遇とマナーについて」では、ビジネスマナーの基本からクレーム対応についての実践まで幅広く学ぶことができました。特に、クレーム対応では、実際の事例を基にグループワークを行い、どのように対応するか皆の前で発表しました。事例によっては対応に苦慮する場面も見受けられましたが、楽しく学ぶことができたと思います。

今回の2つの講演は、基礎的ではありますが、非常に重要な部分でもあります。この講演が、自分を見つめ直すきっかけになることを切に願います。最後に、ご講演を快く引き受けていただきました、古谷先生、井出先生に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



グループワークの様子

平成29年度 第2回 第2地区卒後教育講座 開催報告

- 開催日：平成30年2月24日(土) ■参加人数：18名（会員18名）
■会場：獨協医科大学病院 教育医療棟7階シミュレーション講義室Ⅱ
■内容：「地域医療」を進め、「地域ブランド」をつくろう ～それ伝わっているか？～

[役員発表]

技師会が伝えたいこと 金田 幹雄
伝える？伝わる？ 木村 友昭

[会員発表] 施設における検査説明 ～わかりやすく伝える工夫～

明倫会今市病院 原 享弘
千種 佳翔
獨協医科大学病院 坂本 将規
栄仁会川上病院 江連 真一

[討論会]

わかりやすく伝えるために

[メーカー講演] RSNA2017 第103回北米放射線学会報告

| | |
|-------------------|-------|
| (株)シーメンスヘルスケア | 大澤 雄一 |
| (株)GEヘルスケア・ジャパン | 紫藤 尚利 |
| (株)キヤノンメディカルシステムズ | 近江 公司 |
| (株)フィリップス・ジャパン | 道端 智貴 |
| | 諏訪 亨 |

「わかりやすい技師会」を目指し（H29会長再任挨拶より）、「伝える」ことが役員の役割である。「みんなが集まれる卒後講座を開き情報共有する」（H29年新年会長挨拶より）を目的に、技師会が「伝える」、そして各施設と「対話」するを目標とした。JARTで示す診療放射線技師のさらなる役割の一つである「説明」について考え、相手にきちんと「伝わる」ためにどうすればよいかを考える。

役員発表1の「技師会が伝えたいこと」では、①統一講習会②柔道整復師法一部改正案③医療被ばく施設認定について伝えた。役員発表2の「伝える？伝わる？」では、JART作成の検査説明を紹介し、どうすれば伝わるのが行った。会員発表（3施設）「施設における検査説明～わかりやすく伝える工夫～」では、「相手の立場にたつ」、「相手をみて確認をする」、「いい意味でわざとらしく説明する」など、各施設の工夫がみえた。討論会では、「わかりやすく伝えるために」という題で、①患者乗乗の説明を、絵と状況から考え、②更衣説明を、共感図というものを使用し患者と



技師の思いを書き共通部分を見つけ、どのように伝えれば伝わるかを検討し、活発な意見で盛り上がった。メーカー発表（4メーカー）では、RSNA2017報告より、AI：人工知能が主役となり、高度で先進的な装置の紹介があった。

卒後講座の終わりには、前回に引き続き発表者全員と会長とで記念撮影を行った。

各施設と情報共有をし、また討論会では活発な意見交換ができたため、参加人数は少ないものの意見が言いやすい雰囲気の中、とても盛り上がる講座となった。

第2地区理事 木村友昭

報告

開催報告

平成29年度 第2回 第3地区卒後教育講座 開催報告

■開催日時：平成30年2月7日(水) 18:30~19:50

■会場：済生会宇都宮病院 南館3階研修室A

■参加人数：会員22名

■内容：「定量的骨SPECT/CT検査の解析ソフトウェア紹介」

日本メジフィジックス株式会社 関東第二支店 第一営業所 小田 賢太郎 先生

「医療者と患者とのコミュニケーションを考える」

栃木県立がんセンター 放射線治療科 副科長

井上 浩一 先生



オープニングセッションとして、日本メジフィジックス株式会社小田様より「定量的骨SPECT/CT検査の解析ソフトウェア」についてご紹介いただいた。

ウィンドウレベル、ウィンドウワイズに依存することなく、客観的な評価、定量的な評価ができる大変興味深い内容だった。



続いて、栃木県立がんセンター放射線治療科副科長の井上浩一先生より「医療者と患者とのコミュニケーションを考える」をテーマにご講演をいただいた。



会場からは、「検査室・治療室という限られた空間で患者とのコミュニケーションを取る中で、場所・時間・視線をどのように配慮すべきか?」、「築いてきた良好な関係性が崩れたときの解消方法は何か?」「患者から名前を名乗ってもらうことはほとんどだが、私たちもオープニング挨拶を実践し、より良い関係を構築していきたい。」等発言があり、活発な意見交換が展開された。



撮影完遂、治療完遂という同じ目標に向かって、患者と医療者が協働することの重要性を理解でき、大変有意義な卒後教育講座となった。

第3地区理事 佐藤 宏

報告

開催報告

平成29年度 第2回 第4地区卒後教育講座 開催報告

■開催日時：平成30年2月8日(木) 18:30～ ■会場：佐野厚生総合病院 3F 講義室

■参加人数：24名（うち非会員1名）

■内容：救急撮影技術の初耳学～撮る・読む・伝える～

国立病院機構水戸医療センター 放射線科 田中 善啓 先生



いくらか寒さも緩み始めた2月上旬、佐野厚生総合病院にて第2回第4地区卒後教育講座を開催しました。今回は国立病院機構水戸医療センター放射線科の田中善啓先生より「救急撮影技術」について講演をしていただきました。

今回は救急撮影に必要な検査方法・読影の基礎知識を、頭部・頸部・胸部に要点をおこなわれしました。内容としましては救急患者の症例を挙げ、その患者にどのような検査が必要なのか、またその検査の方法、撮影した画像の読影のポイントを解説していただくものでした。なかにはすぐにでも業務に取り入れられるような知識やテクニックもあり、大変有意義な講演でした。

今回、救急医療の現場において診療放射線技師は、迅速な検査の施行と適確な画像情報の提供が重要であると改めて認識することができました。



第4地区連絡員 小堀 太志

報告

開催報告

平成29年度 第2回 第5地区卒後教育講座 開催報告

■開催日時：平成30年2月8日(休) 18：30～20：00

■会場：医療法人社団有志会 石橋総合病院 大会議室

■参加人数：28名（会員28名）

■内容：「島津のソリューションを含めた最新技術について」

島津製作所 医療機器事業部 グローバルマーケティング部 田中 修二先生



島津製作所
田中 修二先生

平成30年2月8日(休)、第2回第5地区卒後教育講座が行われました。

今回のテーマは「島津のソリューションを含めた最新技術について」でした。

島津製作所といえば、一般撮影装置や

透視装置などが強く永い歴史のあるメーカーです。

その歴史から、時代の流れによる装置の変化、そしてこれまでの技術から、新しい技術への応用などを講義いただきました。

一般撮影装置や、透視装置によるトモシンセシス。うつ伏せに寝るだけの痛くないマンモグラフィ装置。透視装置で行うエネルギーサブトラクションでの骨密度検査。「fNIRS」(functional Near-Infrared Spectroscopy) 機能的近赤外分光分析法やインドシアグリーン (ICG) による体内動態蛍光観察の近赤外光カメラシステムによる光で写す血管、リンパ管ICG蛍光イメージングなどといった最新の話聞くことができました。

島津製作所の話聞く機会が今までありませんでしたが、とても興味深い講演でした。会員の皆様にとっても参考になったと思います。

会場を提供していただき、見学会では夜勤業務中、いろいろな質問等にお付き合いいただいた石橋総合病院の皆様はこの場を借りて感謝申し上げます。



第5地区副理事 大橋 俊之

平成29年度 第1回 消化管撮影研究会 開催報告

平成30年3月24日(土)、平成29年度第1回消化管撮影研究会が獨協医科大学病院放射線部前会議室において開催された。今回は世話人代表が長年世話人代表を務めた青山氏から那須中央病院の須田会員へ交代して初めての研究会開催であったが、消化管撮影に携わる多数の方々の参加を得た。

須田代表世話人から「安全に簡便な中下部前壁撮影を目指して」と題した発表が行われ、腹臥位二重造影正面像(頭低位)の撮影時に椎体を右側に傾けることで前庭部が高位になりバリウムの排泄が早くなるのではないかと考え、基本三大手技である圧迫枕法、ヒップアップ法、右腰挙上法をアシストする補助的な手技として椎体右側傾斜法の追加が提唱された。

NPO法人日本消化器がん検診精度管理評価機構理事でもある進興会立川北口健診館の松本史樹先生から、胃X線診断の基本的な手順である撮影、読影、鑑別診断についての講演をしていただいた後、症例検討が行われた。撮影時に異常ではないかと感じた部位があればその部位にバリウムを集めたりはじかせたりして、より正確に肉眼的な立体構築図を想定できる画像を撮影することで読影も容易となる。今回は1つの胃がん症例に対し何枚もの画像の供覧を受け、どこに異常があるのか、その異常はどのようなものであるかを参加者みんなで読影検討し、その後病理組織診断も交えて解説をしていただいた。

本研究会は、消化管撮影に携わる診療放射線技師の役に立てるよう今後も毎年研究会を開催していく予定です。



「災害支援診療放射線技師研修会」 に参加して

47都道府県サーベイトチームから1名ずつ参加で、平成29年12月23日と24日の二日間にわたり災害支援診療放射線技師研修会が日本診療放射線技師会の講義室で開催されました。

一日目は講習が中心の内容になっており、放射線サーベイト関連として原子力災害についての法令から、その医療体制です。

内容としては、原子力災害が発生したとき避難住民に行う非難退域時検査（セグメント法）の所作を2人1組となり実演しました。福島での事故当時、日本診療放射線技師会より派遣されたサーベイト隊は普段の患者接遇や被ばく相談を駆使して5日間で5021名を円滑に検査し、行政から技師という職種が高く評価されたそうです。セグメント法について興味のある方は横須賀NASチームのHPにマニュアルがありますので、ぜひご覧ください。

次に原発事故を伴わない災害医療の概論が説明され、阪神淡路大震災の教訓から現在までの進歩としてDMATが紹介されました。私が持つDMATの活動イメージは災害現場での活動、いわゆる「がれきの下の医療」とJR福知山線脱線事故のような場面での医療活動でしたが、病院支援として被災地の病院へ出向き、そこのスタッフと共に治療や検査を行うことや被災病院からの避難支援、さらには重症者を被災地外の施設へ搬送することも活動内容に含まれると講習会を通して初めて知りました。

講義のまとめとして、災害時の技師の役割と現状について、「自分たちと離れた地域で災害起き

た時、技師として何ができるか」・「自分が支援医療チームの一員として被災地に出発することになったとき、技師の役割とリスクは何か」・「通常業務中に大地震が発生し、被災したとき、どう行動すればよいか」などグループディスカッションを行いました。講師より時間の関係上、強制終了されてしまうほど各グループ熱の入った討論となりました。

二日目は避難所の環境や運動不足、車中泊など様々な要因により起こるエコノミークラス症候群から肺血栓塞栓症を防止するための深部静脈血栓症対策を目的に、下肢静脈エコーについて装置の基礎から実技を学びました。検査は深部静脈血栓症の好発部位である、ひらめ静脈をプローブで押していく、圧迫法というものです。静脈を圧迫することで圧縮性を判定し血栓を見つけていきます。手技自体は単純なのですが、圧迫の力加減や、個々によって異なる血管走行を確認していく難しさを感じました。実際の現場では短時間で検査することも重要となります。これで完結させるのではなく、職場の臨床検査技師さんから下肢静脈エコーを教えてもらい、マニュアルや検査法のDVDを借りて、勉強を続けていこうと思います。

最後に栃木県診療放射線技師会の小黒会長をはじめとする関係者の皆様、そして栃木サーベイトチームの皆様、大変貴重な研修会に参加させて下さりありがとうございました。今後も講習会の目的である、放射線業務専門職の災害時支援者として、被災地や被災者にとって有効に機能できる能力を習得し続けてまいります。

欧州放射線学会議 (ECR) 2018 に参加して



ECRは、国連ウィーン事務局、IAEA本部の隣の会場で行われます。

2018年2月28日から3月4日まで、オーストリアのウィーンで開催された欧州放射線学会議 (European Congress of Radiology : ECR) 2018に参加したので報告させていただきます。

ECR2018では電子ポスター (EPOS) にて演題登録しました。報告内容は、ボーラス及びSAFIREを用いた 拡張FOV (EFOV) 領域の歪み、CT値低下、SD値の改善効果の比較です。

ECRにおいて本研究を報告した理由は、より多くの人に研究内容を報告したいと考えたからです。ECRは約140か国から28,000人が参加し、さらに研究内容はインターネットで誰でも閲覧可能です。ECRで報告することで、今後のEFOV領域アルゴリズム開発や、アーチファクト低減方法の考案に役立ててもらえる機会が増えるかもしれないと考えました。

また、数年前の日本の学会にて報告された内容が、ECRにて演題登録されていることがあります。研究を行う前に、日本語の過去の文献・演題まで調査することが困難であったのかもしれませんが。

日本の放射線技師の研究内容のレベルは高いと言われているため、国内の学会に参加することは重要ではありますが、周知するという観点において、日本語のみでは限界があると感じていたため、ECRにて演題登録に到りました。

EPOSの演題登録は、パワーポイントで作成したスライドではなく、論文形式で行います。また、言語は英語ではありましたが、EPOSへの演題登録が経験豊

富な当院の先輩技師にアドバイスをいただくことで、無事に登録することができました。

ECRで発表されていた内容は、放射線技師、放射線科医ともに、評価方法はファントム用いずに、臨床画像を用いて、CNR、AUC (Area Under the Curve) の測定を行った演題が多くありました。また、CTに関する演題においては、Dual Energy、AI (人工知能) の演題が多くを占めており、日本との違いを感じました。

機器展示には、国内では見たことがない機器が展示してありました。例えば、MRI対応の保育器、富士フィルムメディカル社製のCT装置 (FCT)、ASL用のQAファントム、カメラと液晶モニターを用いることで水晶体の被ばくを「ゼロ」にする防護ネガネ、尿酸ナトリウムが封入された足ファントムです。

尿酸ナトリウムが封入された足ファントムのメーカーの方から、海外では痛風患者の尿酸ナトリウム検出を目的とした、Dual Energy撮影が日本より多いため、ファントムの需要があると教えていただきました。さらに質問したいことが多くありましたが、語学力の壁に阻まれ、語学力向上の必要性を感じました。

ECRに参加することで、研究を報告させていただくことができたと共に、研究の進め方、検査や考え方が、日本と異なることを感じる事ができ、学会期間中は驚きの連続でした。

この度は貴重な体験をさせていただいた自治医科大学附属病院中央放射線部の皆様に大変感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。



◀ ECR2018は中国との連携が強く、会場のエントランスホールでは龍の彫刻がお出迎え。

▶ 放射線技師がメインで発表する会場。日本の学会と異なり、カジュアルな服装で参加する方が多かったです。

事務局報告

会員の動静

平成30年4月7日現在(敬称略)

■会員総数 485名

第1地区 79名 第2地区 108名
第3地区 146名 第4地区 58名
第5地区 94名

■入会

千種 佳翔 明倫会 今市病院
月井 翔平 国際医療福祉大学病院
片岡 美香 栃木県立がんセンター
川又 藍花 国際医療福祉大学塩谷病院
駒場 珠恵 佐々木記念クリニック

■転入

新木 佳友 宇都宮セントラルクリニック 茨城県より
村岡 祐基 獨協医科大学病院 福島県より

■退会

浅田 敏夫
青山 良英
植木 忠夫
高橋 大器
中沢 武夫
裕間しのぶ
岸田奈美絵
菊地 庄造

■転出

今村 雅彦 埼玉県へ
本多 亮太 福島県へ
安部 裕貴 広島県へ

■異動

藤本 健司 JCHOうつのみや病院
→ JCHO東京城東病院
内田 昇 県南健康福祉センター
→ 地方独立行政法人栃木県立リハビリ
テーションセンター

■変更

名称 東芝メディカルシステムズ株式会社
→ キヤノンメディカルシステムズ株式会社
とちぎリハビリテーションセンター
→ 地方独立行政法人栃木県立リハビリテ
ーションセンター
佐野市民病院
→ 一般財団法人佐野メディカルセンター
佐野市民病院

会の動静

平成30年

1/ 7・8 第7回業務拡大に伴う統一講習会
(獨協医科大学)
1/ 9 会誌109号発行
2/ 7 第2回第3地区卒後教育講座
(済生会宇都宮病院)
2/ 8 第2回第4地区卒後教育講座
(佐野厚生総合病院)
2/ 8 第2回第5地区卒後教育講座
(石橋総合病院)
2/10 第3回卒後教育講座 (獨協医科大学病院)
第6回理事会 (獨協医科大学病院)
2/16 第2回第1地区卒後教育講座
(国際医療福祉大学)
2/19 第13回学術研究発表会抄録集発行
2/24 第2回第2地区卒後教育講座
(獨協医科大学病院)
2/27 第5回業務執行理事会 (獨協医科大学病院)
〈小黒会長・柳沢副会長・牧島理事・金田理
事・吉成理事・須藤理事〉
3/ 7 国際医療福祉大学学位記授与式
(国際医療福祉大学) 〈樋口理事〉
国際医療福祉大学学位記伝達式
(国際医療福祉大学) 〈小黒会長〉
3/ 9 栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会がん
検診委員会
(栃木県立がんセンター) 〈小黒会長〉
3/11 第13回学術研究発表会・第4回卒後教育講座
(獨協医科大学)
第7回理事会 (獨協医科大学)
3/24 第1回消化管撮影研究会 (獨協医科大学病院)
3/31 会員数485名
4/ 3 国際医療福祉大学入学式 〈樋口理事〉
4/ 7 監査会及び第1回業務執行理事会
(本会事務所)
〈小黒会長・茂木監事・荻原監事・柳沢副会
長・福田副会長・牧島理事・金田理事・吉
成理事・須藤理事〉

TART INFORMATION CORNER

■平成30年度 活動予定表

平成30年
 4/ 7(土) 監査会
 第1回業務執行理事会
 4/19(木) あすたーとVol.43発行
 4/26(木) 第1回理事会
 5/26(土) 第1回卒後教育講座
 第94回定時社員総会・勤続20年・35年表彰式
 5/27(日) 診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー
 6/ 2(土) 日本診療放射線技師会定時総会(日経ホール)
 6/ 9(土) 第3回技師長サミット
 6/30(土)・7/1(日) 平成30年度関東甲信越診療放射線技師学術大会
 (朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター)
 7/15(日)・16(月) 第8回業務拡大に伴う統一講習会
 7/19(木) 第2回業務執行理事会
 7/26(木) 第2回理事会
 7/28(土)・29(日) 地域委員会(全国会長会議)
 8/20(月) あすたーとVol.44発行
 9/21(金)～23(日) 第34回日本診療放射線技師学術大会
 (海峽メッセ下関・下関市生涯学習プラザ)
 9/27(木) 第3回業務執行理事会
 9/30(日) 会費納入期限
 10/14(日) 診療放射線技師基礎技術講習「MRI検査」
 10/27(土) 第2回卒後教育講座
 第3回理事会
 11/17(土)・18(日) 第9回業務拡大に伴う統一講習会
 12/ 8(土) 第4回業務執行理事会

平成31年
 1/10(木) 会誌110号発行
 1/19(土) 第4回理事会
 2/10(日)・11(月) 第10回業務拡大に伴う統一講習会
 2/18(月) 第14回学術研究発表会抄録集発行
 2/21(木) 第5回業務執行理事会
 3/ 3(日) 第3回卒後教育講座・第14回学術研究発表会
 第5回理事会

■ご報告

第70回 診療放射線技師国家試験 結果発表

平成30年2月22日(木)に実施されました第70回診療放射線技師国家試験の全国の結果は次の通りです。

- ◆ 受験者数：2,971人
- ◆ 合格者数：2,237人
- ◆ 合格率：75.3%

■ご案内

平成30年度 関東甲信越診療放射線技師学術大会

会 期：平成30年6月30日(土)～7月1日(日)
 会 場：朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター
 (新潟市中央区万代島6-1)
 実 施：一般社団法人 新潟県診療放射線技師会
 参加登録：大会ホームページより事前登録
 (平成30年6月1日まで)
 [事前登録] 3,000円(正会員) / 7,000円(非会員)
 [当日登録] 5,000円(正会員) / 7,000円(非会員)
 * 学生の参加は無料(抄録集1,000円)
 * 情報交換会は事前登録5,000円、当日登録7,000円
 * 詳細はホームページをご参照ください。

■ご案内

第34回 日本診療放射線技師学術大会

会 期：平成30年9月21日(金)～23日(日)
 会 場：海峽メッセ下関・下関市生涯学習プラザ
 (下関市豊前田町3-3-1・下関市細江町3-1-1)
 主 催：公益社団法人 日本診療放射線技師会
 実 施：一般社団法人 山口県診療放射線技師会
 参加登録：[事前登録] (平成30年7月31日まで)
 10,000円(正会員) / 14,000円(非会員)
 [当日登録]
 15,000円(正会員) / 18,000円(非会員)
 (学生の参加登録は2,000円)
 * 詳細はJART4月号またはホームページをご参照ください。

■ご案内

メーリングリストへのお誘い

栃木県診療放射線技師会ではリアルタイムの情報発信を会員の皆様方に提供するため、メーリングリストでの情報発信を随時行っております。

登録は、栃木県診療放射線技師会HP
<http://www.tartnet.com> ➡「会員及び関連の方は
 こちらから」の「メーリングリスト」をクリックして
 みてください。

たくさんの参加登録をお待ちしています。仕事上での疑問、質問も投稿するといろいろな方の答えが聞けて役に立ちますよ!!

一般社団法人栃木県診療放射線技師会

あすたーと

2018
Apr.
Vol. 43

編集・発行 発行人 小 黒 清
 一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
 〒320-0032 宇都宮市昭和1丁目3番10号
 栃木県庁舎西別館404号
 TEL・FAX 028-625-7979
 銀行振込:足利銀行本店 (普通)1785921
 郵便振替:00340-3-35730
 URL <http://www.tartnet.com/> E-mail tart@ce.mbn.or.jp